

主な経営指標の11カ年サマリー

ダスキン及び連結子会社
3月31日に終了した各事業年度

	長期戦略「ONE DUSKIN」											
	中期経営方針			中期経営方針2015				中期経営方針2018			中期経営方針2022	
	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	
お客様売上高												
全国チェーン店お客様売上高 (百万円)	411,494	407,225	401,561	394,850	384,547	382,104	376,994	380,425	359,582	389,388	411,772	
うち訪販グループ (百万円)	274,665	276,956	270,390	274,005	272,633	272,577	271,811	271,189	253,178	265,659	270,081	
うちフードグループ (百万円)	115,484	106,426	105,631	95,549	86,058	81,148	76,741	79,714	80,148	95,031	107,388	
その他(海外事業*1等) (百万円)	21,344	23,842	25,539	25,295	25,855	28,378	28,440	29,521	26,255	28,698	34,302	
会計年度												
売上高 (百万円)	168,163	167,745	167,987	165,203	161,880	161,031	158,699	159,102	153,770	163,210	170,494	
営業利益 (百万円)	9,197	6,641	5,067	5,372	6,069	7,557	7,954	6,577	4,651	9,899	8,637	
経常利益 (百万円)	11,027	8,322	7,083	6,707	7,554	8,978	10,011	7,929	6,633	12,215	11,375	
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	6,092	4,448	3,441	2,983	4,318	5,324	5,984	5,591	2,821	8,132	7,196	
包括利益 (百万円)	9,095	6,246	7,870	1,401	5,309	7,825	8,571	2,178	6,331	7,477	8,316	
減価償却費 (百万円)	7,083	6,953	7,068	6,704	6,878	6,216	6,415	6,938	7,378	7,462	7,439	
設備投資額 (百万円)	5,285	3,974	6,319	8,520	6,047	6,047	6,324	6,744	9,243	6,238	7,916	
会計年度末												
純資産額 (百万円)	152,811	151,903	155,196	143,648	142,108	147,786	149,884	142,031	145,836	151,026	151,774	
総資産額 (百万円)	202,375	202,778	198,475	190,322	190,116	196,058	194,223	185,158	188,399	198,055	197,524	
有利子負債残高 (百万円)	191	246	52	20	91	196	18	14	18	1,539	1,116	
キャッシュ・フロー												
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	16,269	12,086	6,251	11,199	15,803	13,111	13,606	8,850	10,103	19,596	12,061	
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△6,864	△14,004	5,515	△2,826	△3,565	△7,909	△12,555	3,137	△5,019	△8,524	△12,844	
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△5,980	△6,553	△4,514	△12,952	△6,800	△2,232	△6,671	△10,022	△2,563	△835	△7,992	
現金及び現金同等物の期末残高 (百万円)	28,171	19,775	27,118	22,503	27,902	30,877	25,237	27,167	29,674	39,963	31,275	
1株当たり情報												
1株当たり純資産額 (円)	2,407.88	2,446.24	2,544.09	2,569.53	2,651.76	2,758.28	2,876.63	2,872.99	2,948.85	3,047.67	3,120.70	
1株当たり当期純利益金額 (円)	95.15	71.13	56.19	52.18	78.95	99.63	112.38	109.95	57.19	164.71	146.13	
1株当たり配当額 (円)	40.00	60.00	40.00	40.00	40.00	40.00	50.00	56.00	40.00	83.00	88.00	
1株当たり期末株価 (円)	1,878	1,979	2,080	2,022	2,428	2,697	2,635	2,841	2,785	2,689	3,190	
財務指標												
自己資本比率 (%)	75.1	74.3	77.6	75.0	74.5	75.2	77.0	76.6	77.2	76.1	76.6	
自己資本利益率(ROE) (%)	4.1	2.9	2.3	2.0	3.0	3.7	4.0	3.8	2.0	5.5	4.8	
総資産利益率(ROA) (%)	3.1	2.2	1.7	1.5	2.3	2.8	3.1	2.9	1.5	4.2	3.6	
株価収益率 (倍)	19.74	27.82	37.02	38.75	30.75	27.07	23.45	25.84	48.70	16.33	21.83	
配当性向 (%)	42.0	84.4	71.2	76.7	50.7	40.1	44.5	50.9	69.9	50.4	60.2	
株式情報^{※2}												
資本金 (百万円)	11,352	11,352	11,352	11,352	11,352	11,352	11,352	11,352	11,352	11,352	11,352	
発行済株式総数 (千株)	64,994	63,494	63,494	57,494	55,194	55,194	52,694	50,994	50,994	50,994	50,994	
期末自己株式 (千株)	1,913	1,915	2,947	1,948	1,749	1,750	679	1,659	1,650	1,559	2,492	
自己株式取得数 (千株)	1,203	1,500	1,030	5,000	2,100	—	1,430	2,679	—	—	1,094	
自己株式取得金額 (百万円)	2,015	2,835	1,841	10,503	4,415	—	3,750	7,777	—	—	3,303	
株主構成												
個人等 (%)	41.5	39.8	40.0	41.1	40.2	38.7	40.2	39.4	40.2	42.2	41.8	
金融機関 (%)	16.9	15.9	16.7	18.1	19.6	20.6	22.7	23.3	22.9	22.7	22.7	
国内法人等 (%)	28.5	28.2	26.0	23.9	23.4	22.1	21.0	21.2	20.1	19.3	18.8	
外国人 (%)	10.2	13.0	12.6	13.5	13.7	15.4	14.7	12.8	13.5	12.7	12.7	
自己株式 (%)	2.9	3.0	4.6	3.4	3.2	3.2	1.3	3.3	3.2	1.9	4.0	
従業員数												
常時雇用者 (名)	3,512	3,552	3,487	3,538	3,528	3,773	3,813	3,802	3,819	3,778	3,739	
うちダスキン単体 (名)	1,952	1,936	1,928	1,960	1,954	1,991	2,020	1,974	1,988	2,000	1,989	
臨時雇用者 ^{※3} (名)	5,751	5,867	6,041	6,128	6,219	6,029	6,086	6,080	5,925	5,937	5,924	
うちダスキン単体 (名)	1,715	1,541	1,478	1,588	1,607	1,488	1,438	1,121	1,057	1,129	1,074	
営業拠点												
総計 (拠点)	9,912	10,143	10,427	11,067	11,610	12,359	13,675	14,688	14,649	16,342	18,216	
うち訪販グループ ^{※4} (拠点)	5,949	6,031	6,135	6,218	6,200	6,245	6,332	6,365	5,664	5,683	5,728	
うちフードグループ (拠点)	1,422	1,398	1,354	1,314	1,195	1,119	1,037	1,003	985	996	1,014	
海外事業 ^{※1} (拠点)	2,541	2,714	2,938	3,535	4,215	4,995	6,306	7,320	8,000	9,663	11,474	

※1 前年の12月末現在

※2 株式数は、千株未満を切捨てて表示しています。

※3 年間の平均人員

※4 2021年3月以降ドリンクサービスの拠点を除いています。

財政状態および経営成績等の分析

市場分析

■ クリーンサービス事業関連市場

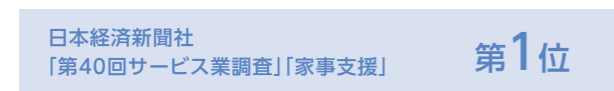
マット・モップ商品などのダストコントロール市場規模は、緩やかな縮小傾向にあるものの、家庭市場では、圧倒的なシェアを誇っています。



※1 当社調べ
※2 一般社団法人日本ダストコントロール協会データ参考(当社調べ)

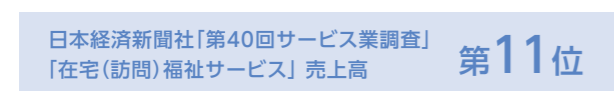
■ ケアサービス事業関連市場

アフターコロナにおいて働き方や暮らし方の変化が起きていることもあり、生活支援サービスを活用することによる新しいライフスタイルの創出が期待されます。



■ シニアケア事業関連市場

福祉用具産業は、2010年3月期から市場規模全体は緩やかな伸びが続いています。また、介護保険外の高齢者向けサービスは、特に都市部での需要が高いことから、今後も市場の拡大が予想されます。



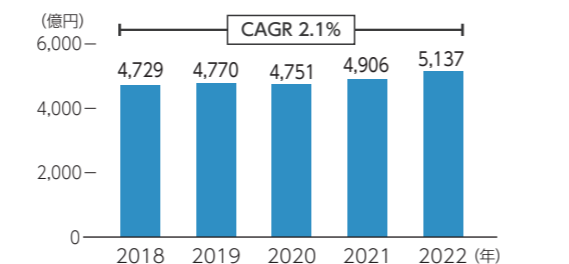
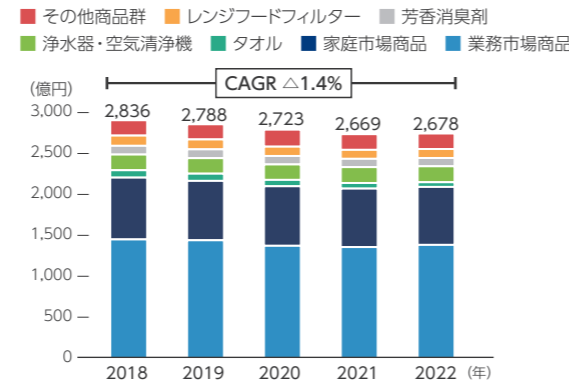
■ フード関連市場

行動制限の解除により、これまで特需的な需要の高止まりが続いていた家庭内消費は落ち着きをみせる一方、やや単価の高い商品販売が好調に推移するなど“プチ贅沢”は引き続き顕在化しています。

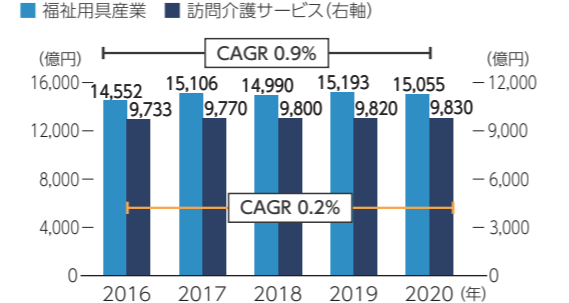


※1 当社調べ
※2 ドーナツチェーン店の出店数ベースより算出(当社調べ)

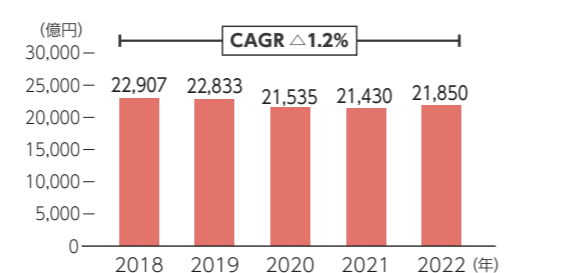
ダストコントロール市場規模



福祉用具産業・訪問介護サービス市場規模



和・洋菓子・デザート類の市場規模



経営成績の概況

2023年3月期における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症(以下「コロナ」)拡大下の厳しい行動制限が緩和されるに従って正常化に向かい緩やかに持ち直す状況にありましたが、コロナ拡大状況は一進一退を繰り返し、経営環境は依然として厳しい状況が続きました。期の後半は、2023年5月からのコロナの「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)」が定める五類感染症への移行に向けて一層行動制限の緩和が進み、ウイズコロナの新たな段階への移行の取り組みが進んだものの、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、エネルギー価格や原材料価格の高騰、不安定な外国為替相場等、先行きの不透明感は依然として高い状況となりました。

そのような環境の中、長期戦略「ONE DUSKIN」の最終第3フェーズ「中期経営方針2022」(2023年3月期～2025年3月期)のスタートを切った当社は、売上拡大施策に注力しつつも、社会価値の向上と企業としての持続的な成長、双方の実現を目指した取り組みを進めました。

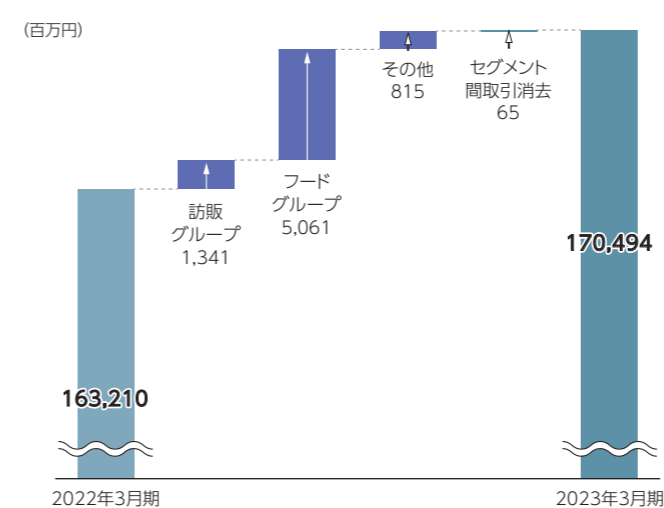
具体的には、シンガポールでのミスタードーナツ事業展開を目的とした現地企業とのマスターフランチャイズ契約締結、暮らしの駆けつけサービスを一層拡充し、生活者のより豊かな生活の実現に貢献するための株式会社クラシアンとの業務提携契約締結等の新しい成長機会への投資、「中期経営方針2022」において最重要の戦略的投資と位置付けている、レンタル商品へのRFID(電子タグ)の取り付け開始

等、経営基盤の構築にも注力しました。更には、取締役会構成における女性比率引き上げ等、取締役会の実効性向上や資本効率の向上にも取り組み、コーポレート・ガバナンス強化も図りました。

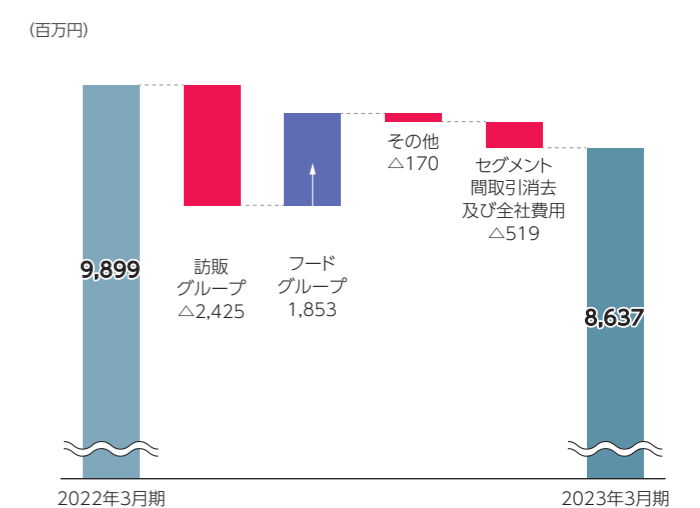
一方では、原材料価格高騰、物流コストの上昇等に対して、お客様に安定的に商品を提供するため、訪販グループ主力のクリーンサービス事業(ダストコントロール商品のレンタルと販売)のレンタル品、一部の定期補充商品・販売商品、並びにフードグループ主力のミスタードーナツの一部商品の価格改定を実施しました。

2023年3月期は、全てのセグメントが増収となったことにより、連結売上高は前期から72億83百万円(4.5%)増加し1,704億94百万円となりました。利益面につきましては、特にミスタードーナツが好調を維持したフードグループの売上総利益が増加したものの、訪販グループが計画に沿って戦略的投資を進めたこと等で原価が大幅に増加したこと等により、連結営業利益は前期から12億61百万円(12.7%)減少し86億37百万円、連結経常利益は持分法による投資利益が増加したこと等により減益幅は縮小したものの前期から8億39百万円(6.9%)減少し113億75百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、無形固定資産の一部減損損失計上等により前期から9億35百万円(11.5%)減少し71億96百万円となりました。

売上高 分析図



営業利益 分析図



財政状態および経営成績等の分析(2023年3月期)

財政状態の概況

■ 流動資産

流動資産残高は691億22百万円となりました。前期末と比較して149億80百万円減少しております。その要因は、有価証券が107億39百万円、現金及び預金が51億52百万円減少したことに対し、原材料及び貯蔵品が10億87百万円増加したこと等であります。

■ 固定資産

固定資産残高は1,284億2百万円となりました。前期末と比較して144億49百万円増加しております。その要因は、投資有価証券が155億66百万円増加したこと等であります。

■ 流動負債

流動負債残高は368億32百万円となりました。前期末と比較して11億73百万円減少しております。その要因は、未払法人税等が12億11百万円、流動負債その他が10億56百万円減少したことに対し、支払手形及び買掛金が6億30百万円、未払金が6億23百万円増加したこと等であります。

■ 固定負債

固定負債残高は89億17百万円となりました。前期末と比較して1億5百万円減少しております。その要因は、長期借入金4億14百万円減少したことに対し、繰延税金負債が3億47百万円増加したこと等であります。

■ 純資産

純資産残高は1,517億74百万円となりました。前期末と比較して7億48百万円増加しております。その要因は、利益剰余金が25億42百万円、その他有価証券評価差額金が13億37百万円増加したこと等に対し、自己株式の取得等により、自己株式が28億82百万円増加(純資産は減少)、退職給付に係る調整累計額が5億5百万円減少したこと等であります。

連結比較貸借対照表(要約)(百万円)

	前期 (2022年3月期)	当期 (2023年3月期)	増減
流動資産	84,102	69,122	△14,980
固定資産	113,952	128,402	14,449
有形固定資産	49,474	49,076	△397
無形固定資産	8,146	7,454	△691
投資その他の資産	56,331	71,871	15,539
資産合計	198,055	197,524	△530

	前期 (2022年3月期)	当期 (2023年3月期)	増減
流動負債	38,005	36,832	△1,173
固定負債	9,023	8,917	△105
負債合計	47,029	45,750	△1,278
株主資本	140,625	140,282	△343
その他の包括利益累計額	10,035	11,078	1,043
新株予約権	59	49	△9
非支配株主持分	305	364	58
純資産合計	151,026	151,774	748
負債純資産合計	198,055	197,524	△530

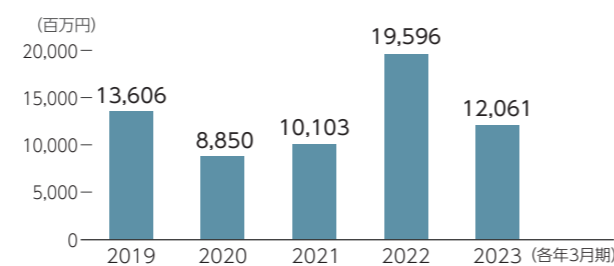
キャッシュ・フローの概況

現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前期末の399億63百万円から86億87百万円減少し312億75百万円となりました。

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、120億61百万円の資金収入(前期は195億96百万円の資金収入)となりました。その要因は、法人税等の支払額39億60百万円、退職給付に係る資産又は負債の増減額15億41百万円等の資金減少要因に対し、税金等調整前当期純利益107億13百万円、減価償却費74億96百万円等の資金増加要因によりです。

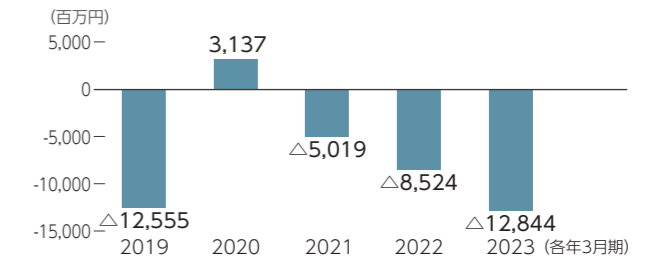
営業活動によるキャッシュ・フローの推移



■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、128億44百万円の資金支出(前期は85億24百万円の資金支出)となりました。その要因は、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入273億67百万円等の資金増加要因に対し、有価証券及び投資有価証券の取得による支出333億28百万円、有形固定資産の取得による支出43億94百万円、無形固定資産の取得による支出19億78百万円等の資金減少要因によりです。

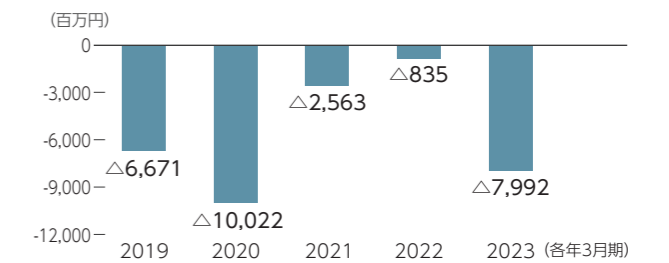
投資活動によるキャッシュ・フローの推移



■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、79億92百万円の資金支出(前期は8億35百万円の資金支出)となりました。その要因は、自己株式の売却による収入4億16百万円の資金増加要因に対し、配当金の支払額45億89百万円、自己株式の取得による支出33億6百万円等の資金減少要因によりです。

財務活動によるキャッシュ・フローの推移



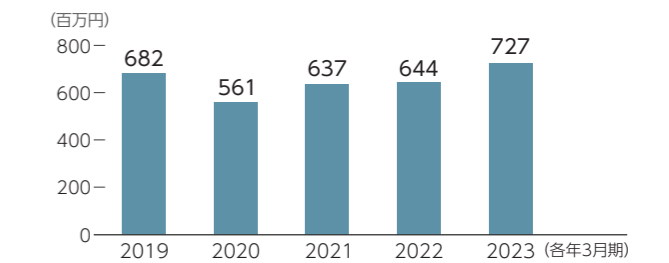
研究開発等の状況

■ 研究開発方針

当社は清掃・衛生関連分野において、生活者を第一に捉え、研究開発を行うにあたり、次の5項目を実践し、社会に対して健康で快適な暮らしを提供することを約束します。

- 常に社会・家庭の実態を把握し、お客様の困りごとを分析して研究開発の優先度を決定します。
- 新規性、進歩性、独自性に富んだ研究や技術開発を行います。
- 社会・人・自然に対して、安全・安心が担保できる商品を開発します。
- 環境保全に寄与し、省資源化が可能な原材料を使用した商品を開発します。
- 市場に導入された商品は、常に改良を図り、顧客・生活者に最適な機能とご満足をお届けします。

研究開発費



設備投資等の状況

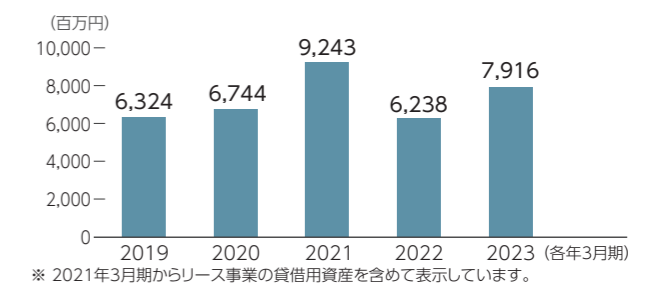
設備投資の総額は79億16百万円であり、主なものは次の通りです。なお、重要な設備の除却、売却等はありません。

主な設備投資(百万円)

グループ	内容	投資額 (2023年3月期)
訪販	工場の改修及び工場設備の増設・更新	965
	RFID(電子タグ)導入用設備	426
	DDuet関連機能追加	255
	レントオール店舗業務支援システムの再構築	210
フード	ミスタードーナツ新コンセプト店舗への改装及び出店	616
その他	ダスキン共益株式会社のリース資産	1,865

* RFID(電子タグ) 取付費用1,090百万円は、少額減価償却資産として別途計上。

設備投資額の推移



* 2021年3月期からリース事業の貸借資産を含めて表示しています。